

車力マコガレイ種苗作出試験

高橋進吾

目 的

つがる市車力産のマコガレイ親魚から種苗の作出試験を行い、種苗放流により日本海系群の資源造成を図る。

材料と方法

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

つがる市車力地先で漁獲された雌4尾、雄4尾、計8尾のマコガレイ親魚を当研究所に搬入し、平成26年3月27日に人工採卵・授精を行い、そのふ化仔魚を用いて仔稚魚の成長と生残を調査した。

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚を当研究所の陸上水槽を用いて平成26年6月24日から中間育成を行い、平成26年7月29日、8月6日につがる市車力地先に放流した。

結果と考察

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

ふ化仔魚 12.5 万尾 (ふ化率 71%) を用いて種苗生産試験を行った結果、平均全長 24.3mm、3.6 万尾の稚魚を生産し、生残率は 28.8% であった (表 1)。

表1 マコガレイ種苗生産結果

ふ化仔魚の収容			取り上げ稚魚				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	年月日	飼育期間	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	
H26.4.10	4.3	12.5	H26.6.24	75 日	24.3	3.6	28.8

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚 3.6 万尾を用いて、平成 26 年 6 月 24 日から中間育成を開始した。陸上水槽を用いて 35~43 日間の飼育を行い、平成 26 年 7 月 29 日、8 月 6 日に平均全長 34.9~40.5 mm に成長した稚魚計 2.9 万尾を車力漁港内に放流した (表 2)。

表2 マコガレイ中間育成(陸上水槽)結果

開 始				終 了(放流)				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	使用水槽	年月日	飼育期間	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	
H26.6.24	24.3	8,000	円型20t・1面	H26.7.29	35 日	34.9	7,000	87.5
H26.6.24	24.3	13,000	円型10t・3面	H26.7.29	35 日	34.9	11,000	84.6
H26.6.24	24.3	11,000	円型30t・2面	H26.8.6	43 日	40.5	8,000	72.7
H26.6.24	24.3	4,000	円型15t・1面	H26.8.6	43 日	40.5	3,000	75.0
合 計		36,000		合 計		29,000		80.6